

(2) 連立事業とバリアフリー化を一体で推進する意義

本市では、連立事業を契機として中心市街地まちづくり計画に沿って春日部駅周辺の総合的な再整備を進めていく予定です。

この中心市街地まちづくり計画を策定する段階でバリアフリーに関する事項についても一緒に検討することで、連立事業による踏切除去やそれに伴う道路整備、民間事業とセットで道路や公共交通、建築物等のバリアフリー化を総合的・一体的に進められることが期待されます。

そのため、本計画では春日部駅・八木崎駅周辺のバリアフリー化に向けた検討を全市に先駆けて優先的に行います。

6. 計画期間

連立事業は、事業認可から12年間での完成を目標としており、合わせて関連する都市計画道路等の整備も進められています。

そのため、中心市街地バリアフリー計画の計画期間は2021年(令和3年)から概ね10年とし、連立事業完了までは、当面の対応として取組が可能なものからバリアフリー化していきます。

なお、バリアフリー化に関する措置の実施の状況について概ね5年ごとに調査、分析及び評価を行い、必要に応じて、バリアフリー化の方針を見直します。